

令和3年7月5日

## X線骨密度測定（デキサ法）を開始しました。

### 骨密度検査とは

日本では高齢者の増加とともに、要支援・要介護者が増えています。その原因で最も多いのは、転倒・骨折や関節疾患などの運動器疾患であり、日本整形外科学会では2007年から、運動器疾患により「立つ」、「歩く」といった機能が低下した状態を総称したロコモティブシンドローム(運動器症候群)を提唱し、予防啓発を行っています。ロコモティブシンドロームの原因の一つが、骨が弱くなることで骨折をしやすくなる骨粗しょう症です。自覚症状が少ないため、早期検査による治療や予防が重要とされています。

主な検査は、骨の形状を観察するX線検査と骨密度検査であり、骨密度検査では、現在、腰椎と大腿骨の測定が推奨されています。

骨密度検査は骨を構成しているカルシウムなどのミネラル類の量を測定する検査で、このミネラル成分が不足していると骨がもろくなります。この検査により骨密度を数値化することで骨量の減少を早期に発見し、骨粗しょう症の適切な予防や治療を行うことができます。また骨密度の値は年々変化していくものなので、経時的な変化をみるためにも定期的な検査をおすすめします。

### 装置について

当院では微量なX線を用いたDXA法（デキサ法）にて骨密度検査をおこないます。DXA法は他の方法と比べ非常に測定精度が高いのが特徴です。測定に用いるX線はきわめて少ない量ですので、安心して検査を受けていただくことが可能です。

また、予防医療が推進される中、検査に使用する医療機器は性能向上だけでなく、患者様に心理的不安を与えないデザインも求められています。当院では被検者に優しい検査環境を提供します。

## X線骨密度測定のご予約について

渋川医療センター 医療連携室

☎直通 0279-23-0626

※ご予約は医療機関様に限ります。

